ロ）各構成員が当該工事に対応する建設業法の許可業種に係る監理技術者又は国家資格を有する主任技術者を工事現場に専任で配置することができること。

ハ）工事等競争参加資格登録要領別紙９－１に定める共同企業体協定書（甲）による協定書（案）が提出されていること。

ニ）各構成員の出資比率が30％以上であることとし、代表者の出資比率は構成員中最大であること。

また、代表者は等級の異なる者の間では上位等級の者とし、同一の等級の者の間では、構成員において決定された者とする。

⑻　上記１に示した工事に係る設計業務等の請負人又は当該請負人と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

⑼　本工事では、３の⑶に示す技術提案項目について、入札説明書の設計図書に参考として示した図面及び仕様書（以下「標準案」という。）において、発注者が設定する最低限の要求要件を満たしていることを求める。

よって、技術提案が採用されること、又は、技術提案が採用されなかった場合若しくは技術提案がない場合においては、標準案で施工する時の注意事項の記載が適正であることが必要であり、この記載もない場合は、競争参加資格は認めない。ただし、総合的なコストに関する事項については、提案がない場合の標準案で施工する旨の意思表示及び施工上の注意事項の記載は必要ない。

⑽　警察当局から、暴力団員等が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、公共工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

３　総合評価に関する事項

⑴　総合評価落札方式の仕組み

本工事の総合評価落札方式は、標準点100点（発注者が設定する最低限の要求要件を満たしている場合に付与する点数。以下同じ。）に最大30点の加算点（入札参加者が提出した技術提案の評価結果に応じて付与する点数。以下同じ。）を加えた点数を入札価格で除した数値（３の⑷でいう「評価値」）を算出し、この数値を比較して落札予定者を決定する方式とする。

その概要を以下に示すが、具体の技術的要件及び入札の評価に関する基準については、入札説明書による。

⑵　評価項目及び評価指標

施工の確実性、工事目的物の性能・機能向上、社会的要請に関する事項、総合的なコストを評価指標とし、評価指標を具体化した技術提案項目について入札説明書に基づき作成するものとする。

⑶　技術提案項目

◆施工の確実性

①　施工の確実性（施工計画、施工体制）

◆工事目的物の性能・機能に関する事項

②　トンネル覆工コンクリートの耐久性を確保する為に行う品質管理手法及び施工方法の具体的な対策。

③　盛土材（ＴＮずり、自工区発生土、他工区発生土混在）の適正な管理手法及び施工方法の具体的な対策。

◆社会的要請に関する事項

④　市道（工事用道路）使用時の安全対策（一般者との共同使用）及び土運搬車両の管理手法について

⑤　赤尾第二トンネル施工（機械掘削・夜間施工含む）における周辺家屋に対する留意点と具体的な対応策。

◆総合的なコストに関する事項

⑥　契約締結後、工事目的物の機能・性能等を低下させることなく、コスト削減が可能となる提案につながる考え方。なお、仮設備に関する提案は認めない。

⑷　評価及び落札予定者の決定方法

入札参加者の技術提案項目を評価し、評価値＝（標準点＋加算点）／入札価格の最も高い者を落札予定者となるべき者とする。

ただし、落札予定者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められるときは、契約制限価格の制限の範囲内で発注者の決める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

なお、落札予定者となるべき条件については、次に掲げる要件に該当する者である。

①　入札価格が契約制限価格の制限の範囲内であること。

②　技術提案の内容が発注者が設定している最低限の要求要件を下回らないこと。

③　評価値が、最低限の要求要件である標準点を契約制限価格で除した数値を下回らないこと。

⑸　評価点の付与の方法

入札説明書に記載された要求要件をみたし、技術提案がない場合及び技術提案が有効と評価できない場合においては標準案の注意事項に適切な記述があれば、標準点の100点を付与するものとする。

また、最大30点の加算点は、（③）①～⑥の技術提案項目における提案で、評価を得た提案の項目数及び内容に応じ、１点刻みで付与するものとし、評価指標毎の配点は次のとおりとする。

◆施工の確実性：10点　◆工事目的物の性能・機能に関する事項：10点　◆社会的要請に関する事項：６点　◆総合的なコストに関する事項：４点

⑹　⑷において、評価値の最も高い者が２者以上あるときは、くじ引きにより落札予定者を決定する。

⑺　技術提案の履行に関する事項

受注者の責により、入札時の評価内容を満足できない場合は、その程度により請負工事成績評点を最大10点減点する。また、契約違反としての措置を講ずる場合がある。

４　入札手続等

⑴　担当部署

〒810―0001 福岡県福岡市中央区天神１－４－２　エルガーラ８Ｆ　西日本高速道路株式会社　九州支社　総務企画部　経理グループサブリーダー　安楽　政明　電話092―717―1745

⑵　入札説明書、図面、仕様書等（以下「申請書等」という。）の交付期間、場所及び方法

①　交付期間：平成21年９月16日（水）から平成21年12月16日（水）までの土曜日、日曜日及び祝日（以下「休日」という。）を除く毎日午前10時から午後４時まで。

②　交付場所：４⑴に同じ。

③　交付方法：直接交付する。

⑶　申請書等の提出期間、場所及び方法

①　提出期間：平成21年９月17日（木）から平成21年10月19日（月）までの休日を除く毎日午前10時から午後４時まで。

②　提出場所：４⑴に同じ。

③　提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、契約責任者の承諾を得た場合は、上記４⑴に持参又は郵送（簡易書留に限る。）すること。

⑷　入札書の提出期限、場所及び提出方法

①　提出期限：平成21年12月17日（木）午前11時00分

②　提出場所：上記４⑴に同じ。

③　提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、契約責任者の承諾を得た場合は、紙により持参又は郵送（書留郵便に限る。）すること。

⑸　開札の日時及び場所

①　開札日時：平成21年12月18日（金）午前10時30分

②　開札場所：上記４⑴の９階建設事業部会議室

５　その他

⑴　契約の手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

⑵　入札保証金及び契約保証金

イ）入札保証金　免除

ロ）契約保証金　納付

ただし、有価証券の提供又は金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

⑶　入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。